

学園評論

全9巻・付録1・別冊1
【復刻版 概要】

- ◎体裁—A5判・上製・総4、230頁
- ◎解題—中西直樹（龍谷大学文学部准教授）
- ◎付録—「わだつみに誓う」—京大天皇事件の記録
「もう黙ってはいられない」
—東大事件はこれからもおこる」
「日本学生詩集—ささやくように」
「水爆よりも平和を」
「世界の学生運動の新しい方向」
—第九回国際学連評議会報告・勧告集—

- ◎別冊—解題・総目次・索引
- *別冊のみ分売可 2,000円＋税
ISBN978-4-8350-7014-8
- ◎定価—本体価格170,000円
- 原本提供—花園大学図書館・京都大学文学部
推薦—宇野田尚哉（大阪大学大学院文学研究科准教授）
西山伸（京都大学文学部准教授）

配本	復刻版 巻数	原巻号数	原発行年月	本体価格 配本年月
第3回配本	第1巻	第1巻第1号～第1巻第3号	1952年7月～10月	2012年7月刊行 本体68,000円＋税 ISBN978-4-8350-7009-4
	第2巻	第1巻第4号～第2巻第3号	1952年11月～1953年6月	
	第3巻	第2巻第4号～第3巻第2号	1953年8月～1954年2月	
	第4巻	第3巻第3号～第3巻第8号	1954年3月～7月	
	第5巻	第3巻第9号～第4巻第1号	1954年8月～1955年1月	
	第6巻	第4巻第2号～第4巻第7号	1955年2月～7月	
	第7巻	第4巻第8号～第5巻第1号	1955年8月～1956年1月	
	第8巻	第5巻第2号～第5巻第5号	1956年3月～1956年7月	
	第9巻	第5巻第6号～第5巻第9号	1956年8月～11月	
第2回配本	別冊	解題・総目次・索引		2012年1月刊行 本体51,000円＋税 ISBN978-4-8350-7004-9
	第3巻	第3巻第3号～第3巻第8号	1954年3月～7月	
	第4巻	第3巻第9号～第4巻第1号	1954年8月～1955年1月	
第1回配本	第1巻	第1巻第1号～第1巻第3号	1952年7月～10月	2011年7月刊行 本体51,000円＋税 ISBN978-4-8350-7000-1
	第2巻	第1巻第4号～第2巻第3号	1952年11月～1953年6月	
付録	『水爆よりも平和を』		1954年7月	
	『世界の学生運動の新しい方向』 第九回国際学連評議会報告・勧告集』		1954年8月	

※第5巻第3号より『学生生活』と改題



〈付録〉



〈付録〉



〈付録〉

不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
ファクシミリ03-3812-4464
振替00160-2-94084

*表示価格はすべて税別

戦後文化運動雑誌叢書⑪

復刻版 全9巻・付録1・別冊1

学園評論

（改題誌『学生生活』を含む）

1952年7月～1956年11月・学園評論社
A5判・上製・総4、230頁
◎解題—中西直樹（龍谷大学文学部准教授）
◎本体価格170,000円＋税（全3回配本）

学園評論

派打つ民族の息吹きに学ぶ往復書簡 新東 龍島みち子
特集—子どもの生活と教育 藤田 正
生活のふし—油煙 西原 隆
教育—活動—動—山びのびの活動— 岡田 一太郎
徴兵問題—黙ってはいられない— 宇野田尚哉
戦後事件の記録 西原 隆
戦後の思想 宇野田尚哉

1



不二出版

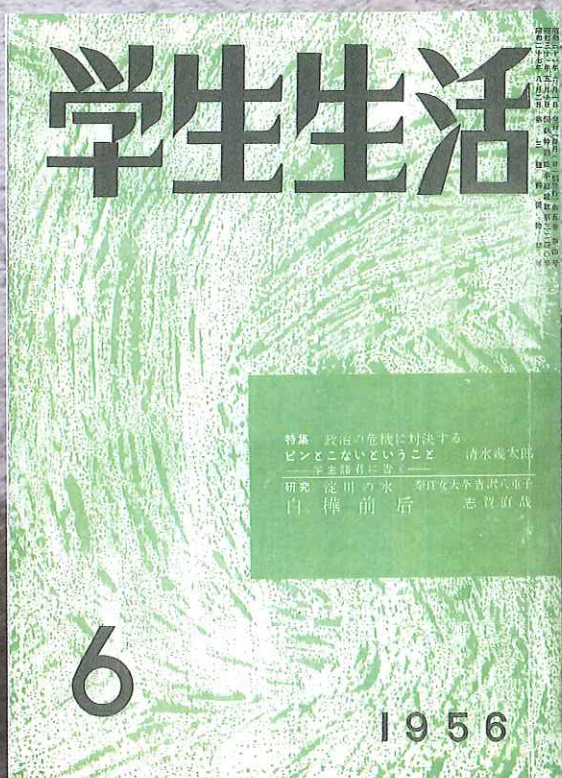
一九五〇年代前半、いまだ戦争の傷あとが生々しく残る戦後日本で、社会運動の先導的役割を果たしたのは、若い学生たちであった——
社会の矛盾と向き合い、民衆と手を携えた学生たちの議論と交流の記録を、戦後学生運動史の重要資料として復刻刊行！

学生生活

特集—政治や危機に付随する
ピンとこないということ— 清水 尚太郎
研究—徳川の水— 龍谷大学文学部
白樺 前後— 志賀直哉

6

1956



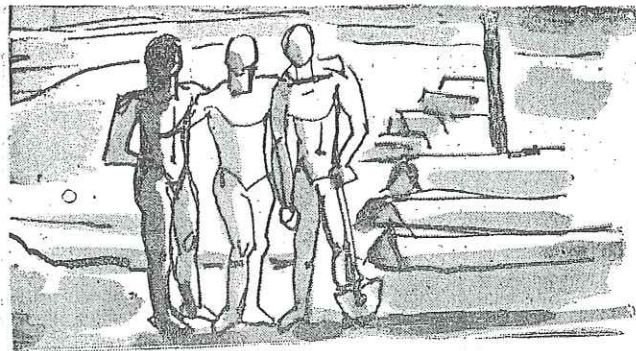
『学園評論』刊行にあたって

一九五〇年代前半、いまだ戦争の傷あとが生々しく残る戦後日本で、社会運動の先導的役割を果たしたのは、若い学生たちであった。朝鮮戦争、サンフランシスコ講和、日米安保、自衛隊、そしてレッドパージ——、反動保守政治の嵐が吹きすさぶなかで、学生たちは反対運動を展開する。こうした状況を受けて、一九五二(昭和二七)年七月、学園評論社より『学園評論』は創刊された(五六年五月より誌名を『学生生活』と改題、同年一月まで継続)。本誌は、創刊に際して全日本学生自治会総連合(全学連)と密接に関わっていたが、その編集・刊行を手掛けたのは全国の大学生たちであった。また、全国各地に支社や支部が設置されており、学生そして市民と意見を交流する場となったのである。

誌面には、学生運動の歴史と課題、大学の自治と学問の自由、平和問題が主要なテーマとして取り上げられたほか、全国の学生の評論や小説、学生サークルの研究報告、読者からの感想・手記が掲載された。当時は新制大学の創設によって学生数が急増し、学生のあり方が多様化したところであり、政治的な発言ばかりでなく、就職、寮生活、恋愛など学生生活に直面する様々な話題が上ったのである。そうした誌面を支えたのは、経歴や立場の異なる多彩な執筆陣である。全学連の指導者に加え、文学、政治、経済、その他様々な領域において、第一線で活躍する研究者・評論家たちも参加した。

この雑誌は、やがて高度成長期に入ると、姿を消していったが、社会の矛盾を深くみつめ、広く民衆と手を携えていこうとする彼らの試みは、今も決して輝きを失っていない。むしろ、社会が混迷を深める今こそ、戦後原点に立ち返り、彼らの意見に耳を傾けたい。

不二出版



学生生活 八月号 目次

特集 日本学生運動史

学生運動の内と外……牧 衷
大学の自由の……上原 専祿
理念と伝統……磯野 誠一

戦前三大事件史

- ★京大・滝川事件……昭和二八年年度国史三回生(三)
- ★早大・軍研事件……早稲田の歴史をつくる会(三)
- ★大商・真理事件……大阪商大真理編集部(三)

廃墟の中の怒り

生きているうちに空襲の惨状を体験し、怒りが……
ノール・モア・イールズ……東北大青木盛雄(六)

わが友に告げん

……東大銀林 浩(七)

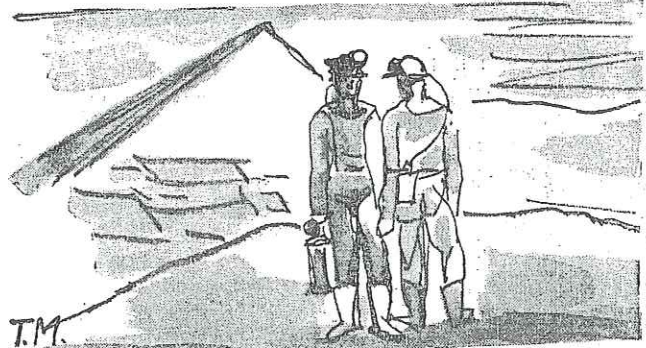
女の園よさようなら

……お茶大小山光子(七)

戦中中学生抵抗秘史

大山事件、早慶戦時事件、よき時代……松尾 隆 国松 藤一
沼田 秀郷 園部 実

風雨強がら松川事件……広井和郎(七)



主要執筆者一覧

芥川也寸志	大島 渚	関 鑑子	深野 治
飛鳥井雅道	岡倉古志郎	タカクラニル	福島みち子
網野 善彦	長田 新	武井 昭夫	伏見 康治
荒瀬 正人	小野 喬	竹内 好	許 南 麒
荒瀬 豊	海後 勝雄	武谷 三男	真下 信一
有山 鉄雄	戒能 通孝	田所 泉	丸岡 秀子
飯塚 浩二	亀井勝一郎	田畑 忍	三岸 節子
家永 三郎	木島 始	田宮 虎彦	南 節子
伊ヶ崎 曉生	北小路 敏	鶴見 俊輔	無着 成恭
井ヶ田 良治	北山 茂夫	藤間 生大	安井 郁
石原慎太郎	木下 順二	徳永 直	安江 良夫
石母田 正	桑原 武夫	中村 光男	安田 良武
井上 清	国分一太郎	奈良本辰也	柳田謙十郎
岩上 順一	志賀 直哉	野坂 参三	山田 稔
上原 専祿	四手井綱彦	能勢 克男	湯川 秀樹
宇野 重吉	清水幾太郎	野間 宏	吉川 幸次郎
扇谷 正造	新村 猛	花崎 五郎	吉川 勇一
大内 兵衛	杉浦 明平	林 羽仁	



五〇年代を生きた若者たちの運動体験を探る手がかりの宝庫

宇野田尚哉（大阪大学大学院文学研究科准教授）

『学園評論』の創刊された一九五二年七月は、「五〇年分裂」下の日本共産党主流派が全学連の指導部を掌握していた時期にあたる。なかでもこの年の七月は、党主流派が火焰ビンに象徴されるような従来の闘争方針を見直して、農村拠点の軍事方針は維持しつつも各方面での文化工作に力を注ぐようになっていく、という大きな転換点であった。そのため、まさにこの転換点で創刊された『学園評論』は、小河内村などでの山村工作隊の活動、各地での農村調査・農村工作、それとも運動した国民的歴史学の実践、さらには各地での原爆展の開催をはじめとする反戦平和運動や反基地闘争など、当時大学生を中心とする若者たちによって担われたさまざまな運動についての情報の宝庫となっている。また、『学園評論』が創刊翌年の一月に「生活の記録、サークル誌募集！」と読者に呼びかけていることも注目に値するだろう。『学園評論』は、学生たちのサークル運動をネットワーキ化してその結節点となることを意図していたし、実際学生サークル詩のアンソロジー『日本学生詩集』（理論社）はここから生まれてきたのであった。

六全協（一九五五年七月）後に批判されることになる以上のような諸運動を現時点でどう評価するかは私たち現在の読者に委ねられている問題であり、『学園評論』の六全協以後の部分をも踏まえての検討が必要なのであるが、しかし、そのような問題関心を離れたとしても、『学園評論』は興味の尽きない資料である。というのも、女子大生による女子大批判の手記や、病気や貧困により休学を余儀なくされている大学生の手記、さらには定時制高校生の手記や、朝鮮人中高生の手記など、主要大学の男子学生に限定されない多様な若者の声がここには収められているからである。このたびの復刻を機に、五〇年代を生きた若者たちの多様な運動体験が掘り起こされるときは、彼らの遺した多様な声がいまあらためて聴き届けられることを願ってやまない。

「歴史の空白期」を埋める

西山 伸（京都大学文学部准教授）

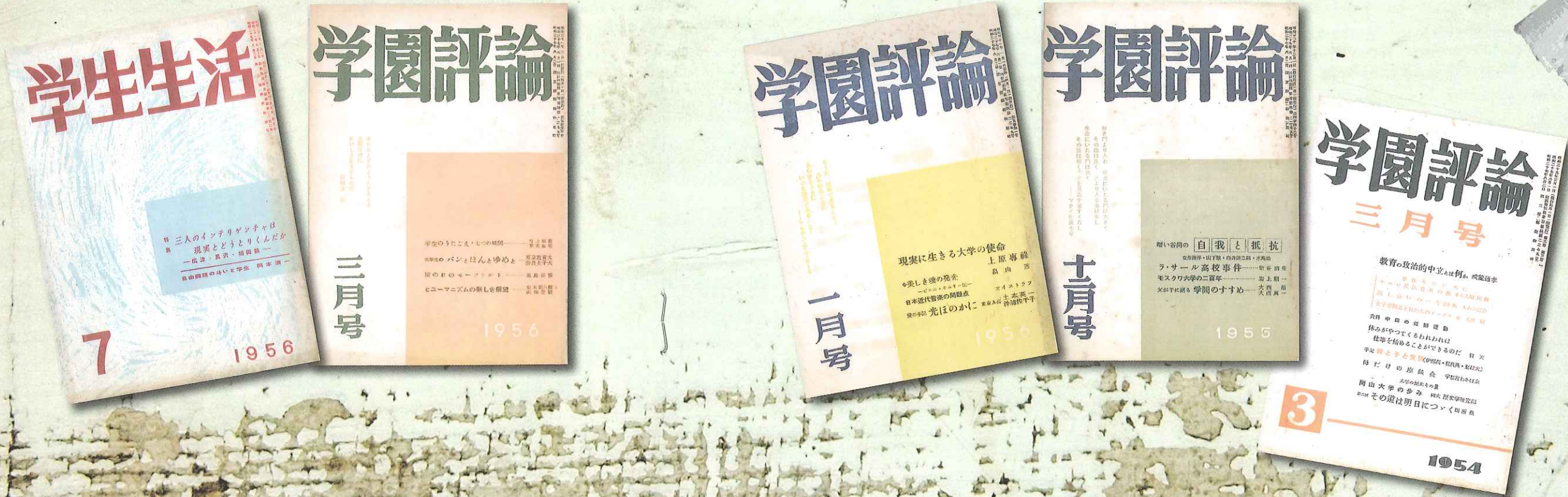
以前、私が所属する京都大学文学部文書館で、一九五〇年代前半から半ばにかけての京大における学生運動関係のビラ・機関紙類の整理・公開作業を行ったことがあるが、その際にこの時期の学生や学生運動関係の資料が非常に少ないことを実感させられた。戦後の学生運動については、最近数多くの関連書が出版されるようになってきたものの、それらは一九六〇年代末のいわゆる大学紛争期のもものが大部分で、相変わらず一九五〇年代前半は「歴史の空白期」のままと言ってもよい。その背景には、当時学生運動に圧倒的な影響力をもっていた日本共産党の分裂と武装闘争路線があったことは容易に想像できる。

このような状況のなか、『学園評論』が復刻されることとなった。各地の大学生が編集主体となり、正にこの時期の全学連の機関誌的役割を果たしていた雑誌である。その意味では、戦後日本の学生運動を研究するには必須の文献と言えるであろう。さらにそれだけではなく、広く学生生活全般に及んでいる。また、執筆者も学生だけでなく、様々な分野の研究者、評論家、俳優、芸術家、スポーツ選手など、本誌の性格を考えたときには少々意外に感じる人物が含まれている。

独立回復直後の、まだ日本がどのような方向に歩んでいくか明確でなかった時期の社会や文化、何より「時代の雰囲気」を知るには格好の文献と言えそうである。

●主要関係学校一覧

- 旭丘中学校
- 麻布学園中学校・高等学校
- 愛媛大学
- 大分大学
- 大阪大学
- 大阪商業大学
- 大阪女子大学
- 大阪市立大学
- 大谷大学
- 岡山大学
- お茶の水女子大学
- 京都大学
- 京都教育大学
- 京都女子大学
- 慶応義塾大学
- 神戸大学
- 國學院大學
- 静岡大学
- 中央大学
- 朝鮮高等学校
- 津田塾大学
- 戸板学園中学校・高等学校
- 東京大学
- 東京医科歯科大学
- 東京経済大学
- 東京女子大学
- 東京都立大学
- 同志社大学
- 東北大学
- 都立小山台高等学校
- 名古屋大学
- 奈良女子大学
- 日本女子大学
- 日本大学
- 一橋大学
- 広島大学
- 福岡女子大学
- 明治学院大学
- 盛岡短期大学
- 山梨大学
- 横浜国立大学
- 立命館大学
- 早稲田大学



本文の見本

全国のみなさん！

みなさんの手で創って行く雑誌「学園評論」創刊号がいよいよでき上りました。

発刊の断りが報されてから今日、この創刊号が生まれるまでの約半年、私達の雑誌はいろいろな困難と斗争を乗り越えたが、この半年というものは私達の祖国にとってもこれまでにない困難の日々でした。

この間、私達の平和で豊かな生活を築いて行こうという希望は無きにも式々とききこまれて来たのです。新聞紙上では日々に式々で歓迎された「独立」を私達は裏腹で迎えたような重苦しい気分をどうすることもできません。そして今、一人一人の心の奥底に、静々とたどろろと流れて出ました。破壊活動防止法には労働者も学生も、ネットと立上りました。また、同じ苦しみを感じながら、私達の文化を創造しようという動きが根強くひろがって来まして。

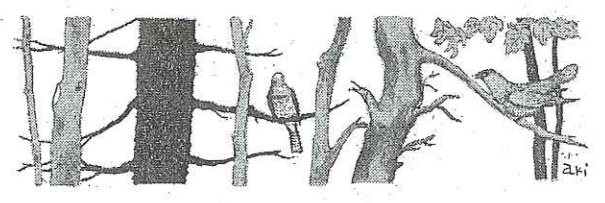
それだけではなく、現に全国の学生たちは農村や労働者の中へ入って行き、そこで共に生活し、共に闘っています。また、学園の内では学園の自由と学園の自治のために闘っています。

この斗争の中で、私達の学生は、ほんとうの学園、文化のあり方を学んできました。学園が大学の伝統にしばられ、研究室のわく内閉じこめられていた限りもはや学園としての価値を失い、そこにはただ形骸だけが取残されたものの中からは生まれ、これに役立てることによって成長して行くこと、そして私達の上におおいかぶさって来ていて、かつてない民族の危機の中で、国民に奉仕して行くこと、これによってのみ民族の生き生きとした学園、文化が創造されて行くことが自己の使命を通じてのみ真に学園、文化を創造し得るといふことがわかって来た。

ここに収められた斗争の記録やサークルの体験はこのことを教えています。

全国の皆さん！

「学園評論」を私達の友情と団結の絆としてもっと豊かに育てて上げましょう。私たちはこれから明日への限りない勇気と確信を汲みとることができるようでしょう。明るい豊かな未来のために！



七月号 目次 (カット) 阿部昭子

みんなて学ぶために

教室憲章……………名大理学部 物理学教室 4

研究室の科学と私たちの集り…京大宇宙物理 原田耕 12

私たちは学ぶ権利をもっている…東京理大 科学史研究会 18

—学園民主化に結ばれた統一行動の輝かしい記録—

死の科学と民族の思想……………石母田 正 38

—中谷宇吉郎博士について—

共同研究

平和的共存の理論(上)…名大 信夫ゼミナール 46

手記 貧しくて死んだ友へ(東大互助活動を中心に)……………30

不屈の意気と明るさ……………東大経済学部 柿沼昭

互助会の生みの親……………東大互助会 前田二郎

小沼君の置土産……………東大教育学部 渡田克夫

手記 学びつつ考えたこと……………都立大附属高 わたつみ会 41

共同研究

「滝川事件」をめぐる問題……………(批判) 藤谷 俊雄 55

(反省) 京大国史科四回生一同 58

その道は明日につづく……………田所 泉 62

3巻8号(1954年7月)

創刊号(1952年7月) 全国のみなさん！

特集 二 結 解放の焦点

- (23) — 結 解放の焦点
- ◇特集 そのI [軍事基地と農村]
- 胎動する浅間山 本誌編集部
- 妙義山演習地 群馬大学社研
- ◇特集 そのII (手記・報告)
- 東北大学
- 鳥取大学
- 中央大学
- 東京大学
- ◇特集 そのIII [共同討議]
- 日本の農村 指導 朝野 勉

農村、それは日本の国土のもっとも大きな部分である。私たちの食物のすべてが、またあらゆる用途に役立てられる木材のすべてがここでも生産されている。ここで働く人々の生活は、しかも都市の人々には比へてはるかに苦しいといわれている。

農村、それは日本のおもむきの問題が複雑に入りこんでいるところでもある。地主制度と封建的慣習がいざんとして在り、その上三〇億坪といわれる七百以上の基地が、今ではいづれに付られて居る。日本を真に平和で幸福な国にする。自由で民主的な国にする。それはこの農村を真に働く農民の地とするを前提として、考えられなくてはならない。

本誌は昨年八月、農村の特集を盛り、夏休みに入村する学生諸君をはじめ、農村問題に関心をよせられる方々の資となるべく努めたが、今号もまた、この解放の焦点、農村について考えてみた。

全国遊説に参加して

—座談会—

司会

奈良本辰也 (立命館大学文学部教授)

今井俊一 (同志社大学同僚部助教授)

桑原武夫 (京大文学部研究助教授)

吉村達次 (京大経済学助教授)

鶴見俊輔 (京大文学部研究助教授)

島村達次 (京大経済学助教授)

この春から夏にかけて全国的に破壊反対の運動があり、京都でも五月三十日の大会以来運動が進められて来たわけですが、その中で京大を中心として全国遊説が行われ、浅間山の先生方がこれに参加されたのですが、今日集った皆さんはいろいろの意味で、その中を代表する方々です。全国遊説の中で感じられたことなどをどんどん出していただき、話をしてみたい。まづ、どの辺に行きたいか、話をしてみたい。まづ、桑原さんあたりからどうですか。

桑原 僕は休みに来てから、早稲田、丸の内、西条、池田、土佐の高校、高知では高知市と郊外の広岡町です。別に驚かし、動機はないのですが、準備反対、憲法改正反対を文化問題の中に入れて話をしました。

島村 僕は北海道、これは七月の学術会議第三部の後三連に分れて回ったのです。教員層分のラインで、多岐や銅路、帯広等の農地帯を、其の後の、山形の鶴岡ではユネスコ支部主催ということで、高専学校で、八月には

1巻4号(1952年11月)

2巻4号(1953年8月)

既刊書「戦後文化運動雑誌叢書」のご案内

- 戦後文化運動雑誌叢書**
- 午前** 《全5巻・別冊1》
- 南風書房発行/北川晃二編
- 昭和21年、24年刊
- 体裁 A5判・上製・総2、104頁
- 別冊 解説・回想・総目次・索引
- 解説 狩野啓子・長野秀樹・深野治
- 揃定価 90,000円+税
- 推薦 大西巨人・紅野敏郎
- 文化展望** 《全3巻・別冊1》
- 三帆書房発行/大西巨人ほか編
- 昭和21年、23年刊
- 体裁 B4判並製・B5判上製・総666頁
- 別冊 解説・総目次・索引
- 解説 赤塚正幸・大西巨人・狩野啓子
- 揃定価 28,000円+税
- 推薦 大西巨人・紅野敏郎
- 文化運動雑誌叢書**
- 文化展望** 《全3巻・別冊1》
- 三帆書房発行/大西巨人ほか編
- 昭和21年、23年刊
- 体裁 B4判並製・B5判上製・総666頁
- 別冊 解説・総目次・索引
- 解説 赤塚正幸・大西巨人・狩野啓子
- 揃定価 28,000円+税
- 推薦 大西巨人・紅野敏郎
- 戦後文化運動雑誌叢書**
- 文化展望** 《全3巻・別冊1》
- 三帆書房発行/大西巨人ほか編
- 昭和21年、23年刊
- 体裁 B4判並製・B5判上製・総666頁
- 別冊 解説・総目次・索引
- 解説 赤塚正幸・大西巨人・狩野啓子
- 揃定価 28,000円+税
- 推薦 大西巨人・紅野敏郎
- 戦後文化運動雑誌叢書**
- 文化展望** 《全3巻・別冊1》
- 三帆書房発行/大西巨人ほか編
- 昭和21年、23年刊
- 体裁 B4判並製・B5判上製・総666頁
- 別冊 解説・総目次・索引
- 解説 赤塚正幸・大西巨人・狩野啓子
- 揃定価 28,000円+税
- 推薦 大西巨人・紅野敏郎

- 人民戦線** 《全5巻・別冊1》
- 人民戦線社発行/中西伊之助主筆
- 昭和20年、24年刊
- 体裁 A5判・上製・総1,700頁
- 別冊 解説・総目次・索引
- 解説 勝村誠・秦重雄
- 揃定価 68,000円+税
- 推薦 高柳俊男・西田勝
- チンダレ・カリオン** 《全3巻・別冊1》
- 大阪朝鮮詩人集団機関誌
- 昭和28年、38年刊
- 体裁 A5判・上製・総922頁
- 別冊 解説・鼎談・総目次・索引
- 解説 宇野田尚哉・細見和之
- 揃定価 36,000円+税
- 推薦 金時鐘・梁石日・鶴飼哲・米谷匡史
- 東京南部サークル雑誌集成** 《全3巻・付録1・別冊1》
- 昭和26年、35年刊
- 体裁 B5判・上製・総1,864頁
- 別冊 解説・解題・回想・総目次・索引
- 解説 道場親信 解題 浜賀知彦
- 揃定価 68,000円+税
- 推薦 小関智弘・坪井秀人
- 西川祐子・ハリイ・ハルトウーニアン
- サークル村** 《全3巻・付録1・別冊1》
- 九州サークル研究会発行
- 昭和33年、36年刊
- 体裁 A5判・B5判・上製・総1,946頁
- 別冊 解説・回想・総目次・索引
- 解説 井上洋子・坂口博・松下博文
- 揃定価 65,000円+税
- 推薦 有馬学・池田浩士・上野千鶴子・鶴見俊輔
- 総合文化** 《全3巻・別冊1》
- 真善美社発行
- 昭和22年、24年刊
- 体裁 A5判・上製・総1,318頁
- 別冊 解説・総目次・索引
- 解説 鳥羽耕史
- 揃定価 48,000円+税
- 推薦 池田浩士・高良留美子・鶴見俊輔・成田龍一

- 戦後文化運動雑誌叢書**
- 新女性** 《全16巻・別冊1》
- 新女性社発行
- 昭和25年、31年刊
- 体裁 A5判・上製・総9,496頁
- 別冊 解説・総目次・索引+DVD1枚
- 解説 伊藤康子
- 揃定価 370,000円+税
- 推薦 犬丸義一・坪井秀人・橋本宏子・藤目ゆき
- 人民文学** 《全15巻・付録1・別冊1》
- 人民文学社発行
- 昭和25年、30年刊
- 体裁 A5判・上製・総6,750頁
- 別冊 解説・回想・総目次・索引+DVD1枚
- 解説 道場親信・鳥羽耕史
- 回想 柴崎公三郎
- 揃定価 256,000円+税
- 推薦 加納実紀代・島村輝・坪井秀人・成田龍一